

(施策評価表22)

【施策番号 I-3-②-3】

取組みの方向性	活力を創る	戦 略	【戦略3】地域力を高める ～政令指定都市以外の地域振興を重点的に進めます～	主な施策	◆地域の生活を支える ～買い物弱者の解消と地域の移動手段の確保～
			②地域の現状やニーズを踏まえた地域振興		

1 取組内容	2 主な事業	担当課	H25予算(千円) H24決算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性	
<p>・ 買い物弱者の解消をめざし、市町村等が実施するJA、直売所、コンビニなどと連携した、集落内コンビニの設置、移動販売、買い物代行などの取組みを支援します。</p>	地域づくり夢チャレンジ推進事業	地域振興課 企画課	300,000 128,823	<p>・ 地域づくり夢チャレンジ推進事業の「絆の里づくり事業」により、配食サービスや御用聞き等の買い物弱者対策を盛り込んだ地域づくり計画を作成したことにより、地域としての今後の方向性が定まった(2地域)。</p> <p>・ 地域事業者と商工会が連携して、地域の買い物弱者のニーズの把握や事業化の調査研究を行い、買い物弱者支援サービス計画を作成した。</p> <p>・ 商店街組織等が病院に売店を設置・運営する事業や宅配サービスに対し支援を行い、新たな買物の場を提供することにより、地域の買い物弱者の解消(約40世帯)を支援した。</p>	<p>・ 地域づくり夢チャレンジ推進事業の「コミュニティ・ビジネス企業化の取組み」や「地域コミュニティ維持の取組み」により、市町村や地域づくり団体が行う集落内コンビニの設置や移動販売、宅配等の取組みを支援する。</p> <p>・ 商工団体が主体となり買い物弱者支援等の社会的課題を解決する取組みに対し、地域力活用ビジネス創出支援事業により支援を行う。また、宅配サービスや移動販売の実証実験を行う。</p> <p>・ 商店街組織や共同店舗が行う社会課題の解決に資する取組み(買い物弱者支援等)に対し、まちなかづくり推進事業により支援を行う。</p>	<p>・ 事業の実施にあたっては、特に地域団体において、企画から事業実施まで行う担い手の確保(掘り起こし・育成)や、担い手が事業を開始し、継続していくための資金等を確保する必要がある。</p> <p>・ 市町村、地域コミュニティ組織及び事業者等が連携し、事業を継続できる仕組みや体制を構築していく必要がある。</p> <p>・ 地域一体となった連携体制の構築と、事業継続のための一定の利益収入が必要であるため、その仕組みづくりを進めていく必要がある。</p> <p>・ 商店街組織や共同店舗において、継続して事業を行うための費用を捻出していく必要がある。</p>	<p>・ 地域づくり夢チャレンジ推進事業全体での取組件数が80~100件となるよう取り組んでいく。</p> <p>・ 買い物弱者対策に取り組む市町村や地域コミュニティ組織に対する支援を実施し、買い物環境改善が図られるよう取り組んでいく。</p> <p>・ 買い物弱者問題等の社会的課題をビジネスの手法で解決する「ソーシャルビジネス」が開始されるよう取り組んでいく。</p> <p>・ 商店街組織や共同店舗のコミュニティ機能が高まり、地域の買い物環境が改善されるよう取り組んでいく。</p>	
	地域力活用ビジネス創出支援事業	商工振興金融課	20,000 15,343					
	まちなかづくり推進事業	商工振興金融課	17,818 7,059					
<p>・ 地域の移動手段の確保をめざし、鉄道、路線バスはもとより、コミュニティバス、乗合タクシー、海上交通など、地域の実情・特性に応じた市町村の取組みを支援します。</p>	地方公共交通対策事業	交通政策課	481,147 364,019	<p>・ バス運行に必要なコストについて、国、県、市町村が協調して支援することにより、地域住民に必要なバス路線を維持した。</p> <p>・ 市町村が取り組む、バス路線の再編、コミュニティバスや乗合タクシーへの転換等について、積極的なサポートを行い、コスト削減や利用者の利便性向上を進めた。</p> <p>・ 県内の三セク鉄道の経営安定のため、多額の費用を要している鉄道施設整備の維持に対し、国と協調し支援を行った。</p> <p>・ 地域の生活の足である航路を維持するため、県内離島等の運航支援を行う市町村への支援を行った。</p>	<p>・ 生活交通の維持・確保を図るため、広域性・幹線性を有する路線バスの運行維持に対する支援、市町村が地域の実情に応じて取り組むバス路線の再編、コミュニティバス、乗合タクシーの導入等に対する支援を実施する。</p> <p>・ くま川鉄道において、運行の安全、誘客促進及び沿線地域の振興のため、観光列車仕様の車両にH25~26年度の2カ年で5両更新予定。</p> <p>・ 水俣市において、肥薩おれんじ鉄道水俣駅を、H25~26年度の2カ年で改修予定。</p> <p>・ 県内離島等の運航支援を行う市町村への補助を継続するとともに、地元自治体と連携を図り、航路事業者の経営改善を促す。</p>	<p>・ 燃料費の高騰等により、バス会社の収益は厳しく赤字額は増加傾向にある中、生活交通の維持確保は大変重要な課題であるため、市町村におけるバス路線の維持や再編、コミュニティバス、乗合タクシーの転換等について、財政的支援と助言等の技術的支援を行う必要がある。</p> <p>・ 鉄道において運行の安全を図ることは最重要課題であることから、施設の老朽化が進んでいる路線の計画的な整備を進めていく必要がある。</p> <p>・ 沿線人口が減少していることから、沿線自治体等と連携し、効果的なPR活動等を実施する必要がある。</p> <p>・ 離島や半島航路においては、今後も少子高齢化による利用者の減少が懸念されることであり、地域の生活の足である航路の維持確保を図っていくためには、地元市町と十分連携して継続的に支援する必要がある。</p>	<p>・ バス路線の再編等により、利用者の利便性が向上するとともに、市町村の財政負担が現在と同程度に抑えられるよう取り組んでいく。</p> <p>・ 鉄道施設整備への補助により安全性を向上させていく。</p> <p>・ 観光列車導入等により利用客を増加させていく。</p> <p>・ 地域の生活の足である航路の維持・確保を進めていく。</p>	
	並行在来線対策事業	交通政策課	107,419 29,072					
<p>主な施策のまとめ</p>				<p>●地域づくり夢チャレンジ推進事業において、買い物弱者対策を盛り込んだ地域づくり計画を作成したことで、2地域で今後の方向性が確定。</p> <p>●商店街組織が病院内に売店を設置・運営する事業や宅配サービスに対し支援を行い、新たな買物の場を提供し、地域の買い物弱者(約40世帯)を支援。</p> <p>●市町村が取り組むバス路線の再編、コミュニティバス、乗合タクシーへの転換等をサポートし、コスト削減や利用者の利便性向上が進展。</p>	<p>●移動販売や宅配等の買い物環境整備の取組みに対し、地域づくり夢チャレンジ推進事業で支援。</p> <p>●買い物弱者支援等に対し、地域力活用ビジネス創出支援事業とまちなかづくり推進事業により支援。</p> <p>●生活交通の維持・確保を図るため、路線バスの運行維持に対する支援、市町村が取り組む路線バスの再編、コミュニティバス、乗合タクシーの導入等に対する支援を実施。</p>	<p>●地域一体となった連携体制の構築と事業継続のための一定の収益確保の仕組みづくり。</p> <p>●燃料費の高騰等によりバス会社の赤字が増加傾向にある中での生活交通の維持確保。</p>	<p>●買い物弱者問題等の社会的課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネスの開始に向けた取組みを展開。</p> <p>●バス路線の再編等により、利用者の利便性が向上するとともに、市町村の財政負担が現在と同程度に抑えられるよう取組みを展開。</p>	